

大田・生活者ネットワーク 区議会レポート

きたざわ潤子

きたざわ・じゅんこ

発行責任者：北澤潤子 〒144-0052 東京都大田区蒲田 4-42-3 イースタンコーポ蒲田 302
TEL：03-6424-7561 FAX：03-6424-7562 E-mail：oota@seikatsusha.net
大田・生活者ネットワークホームページhttp://oota.seikatsusha.me



<http://kitazawa.seikatsusha.me> 子どもたちの未来のために今、大切なこと

●大田・生活者ネットワークきたざわ潤子の活動を紹介します。

住宅は生活の基盤

居住支援の展開を！住宅セーフティネット法

超高齢社会の中にあつて、高齢単身者が民間賃貸住宅を借りにくくなっているという課題があります。家主側にとっては「家賃滞納」や「孤独死」のリスクがあるからです。同じ借りにくい状況があり、住宅確保に配慮を要する人として若年層や母子家庭などの低所得者層、また障害者や子育て世帯などが想定されています。一方、空き家の増加という状況もあり、国は住宅セーフティネット法を整備することで、賃貸住宅の供給の促進をすすめています。しかしこの法律をうまく活用して、実効性ある解決に向かうには、自治体において住宅担当と福祉部との連携を柱に地域資源(居住支援サービス)をいかに掘り起こしてネットワークをつくっていけるかにかかっています。

以前参加した学習会(東京・生活者ネットワーク主催)で講師をされた千葉大学教授の小林秀樹さんをお呼びして超党派で居住支援学習会を開催しました。(7月24日)まずは「住宅セーフティネット法」の仕組みを学ぶことを主眼に不動産事業者や高齢者支援に携わる市民団体などに参加を呼びかけました。次の段階では法を運用するために実際、家を借りたい人と貸したい人の橋渡しとネックになる障壁を取り除くことです。

折しも毎年参加している「生活保護問題対策全国会議」(8月24日、25日)では今年の大きなテーマに「居住支援」があり各地の先進的な事例が紹介されました。たとえば福岡市社会福祉協議会の事業である「すまいサポート福岡」はNPOなど14団体と連携して、民間賃貸住宅への円滑な入居を支援する事業を展開しています。支援内容は物件情報の提供、入居時や入居後に必要なサービスのコーディネート、見守り、専門相談、権利擁護、緊急時対応、死後事務委任、家財処分、葬儀、埋葬・納骨、生活支援サービス、医療・介護・保健サービス等のコーディネートです。

このような中間支援があることで、家主は安心して家を賃

きたざわ潤子プロフィール

(きたざわ・じゅんこ)

■高知県生まれ大田区池上2丁目在住 ■東洋英和女学院短期大学保育課卒業 ■日本女子大学通信教育課程家政学部児童学科卒業 ■幼稚園16年間勤務(めぐみ幼稚園、こひつじ幼稚園他)、嶺町幼稚園非常勤講師 ■日本保育学会会員 ■2011年～大田区議会議員(現在2期目) ■健康福祉委員会、防災・安全対策特別委員会

INFORMATION

3.11を忘れない～3.11を風化させないために～

日時：10月11日(木) 18:00～19:30
場所：事務所
参加費：300円(軽食付)

OTA未来カフェ「議会報告」

日時：10月21日(日) 10:00～12:00
場所：事務所
参加費：無料

居場所づくりフォーラム～住みよいまちをめざす～

日時：10月13日(土) 10:00～12:00
場所：大田区消費者生活センター 2F講座室
参加費：無料
主催：生活クラブ運動グループ大田地域協議会
連絡先：大田・生活者ネットワーク TEL 03-6424-7561

すことができ、住宅を求めている人にとっては、安定した生活を営めることにつながります。生活の基盤である住宅を全ての人が持つことができるようにすることは行政の大事な仕事だと考えます。大田区は居住支援協議会設置に向けての準備会を10月から設置するそうですが、実行力のある協議会となるよう生活者ネットワークはサービス提供者の掘り起こしと情報共有、学習会など、居住支援に積極的に取り組んでいきます。